

平成 18 年度一般会計歳入決算集計表

(単位：千円、減額)

科目	本年度決算額	前年度決算額	比較増減	対前年度比(%)
町 税	365,201	361,943	3,258	0.9
諸収入	116,501	133,625	17,124	12.81
繰入金	20,953	247,289	226,336	91.53
地方交付税	1,672,892	1,725,654	52,762	3.06
町 債	242,910	303,735	60,825	20.03
県支出金	187,837	226,862	39,025	17.20
国庫支出金	79,763	131,964	52,201	39.56
その他(1)	201,247	103,506	97,741	94.43
その他(2)	137,457	127,482	9,975	7.82
計	3,024,760	3,362,059	337,299	10.03

一般会計決算歳入

減少するまちの収入
財源確保にご協力を

国からの地方交付税の減少や、人口・所得の減少による
税収減など、まちの収入は
年々減少しています。

財源確保のため、現在、ま
ちでは固定資産税率、公共下
水道・農業集落排水使用料の
引き上げを昨年度から行って
います。また、今年7月から
はごみ処理手数料の値上げを
行い、まちの皆さんに負担を
お願いしています。

町税などの未収額約1億円
徴収に全力を

平成18年度一般会計決算に

おいては、合計約1億円の未
収金が発生しています。内訳
は、町税(町民税・固定資産
税)約1088万円、住宅使
用料約258万円、住宅新築
資金等貸付金元利収入約78
18万円と、震災復興に要し
た災害援護資金貸付金元利収
入約841万円などです。こ
れら多額の未収金も町の財政
を圧迫している大きな原因の
ひとつです。

また、特別会計においても
約2183万円の国民健康保
険税の滞納額などが発生して
います。

まちでは、担当者をはじめ
管理職らで特別チームを作り、
全力で未収金の徴収にあたっ
ています。

一般会計決算 歳出

前年度に比べ6^{パーセント}減
約30億4430万円を支出

平成18年度決算の一般会計
における歳出約30億4430
万円（前年度決算に比べ約6
^{パーセント}減）の内訳は下のグラフに
示したとおりです。

全体に占める割合の大きい
順で見ると、まちが借金をし
て事業を行った町債の返済金
である公債費が約7億529
5万円（全体の24・7^{パーセント}）、西
部広域行政管理組合負担金や
防災行政無線設備整備、庁舎
管理などの全体的な管理事務
に使われた総務費が約5億6
020万円（全体の18・4^{パーセント}）、
福祉・介護、保育所運営など
に使われた民生費が約4億9
592万円（全体の16・3^{パーセント}）、
保健事業、簡易水道事業への
繰出金やごみ処理などの三町
衛生施設組合負担金、日野病
院への負担金などに使った衛

生費が約4億3045万円
（全体の14・1^{パーセント}）となつて
います。

借金返済がピーク
当分の間赤字の見通し

現在、各種事業や鳥取県西
部地震の復興経費などの借金
返済のピークを迎えており、
今後当分の間赤字決算が続く
ことが予想されます。

まちでは、少しでも早く赤
字財政から脱出するため、現
在も引き続き町長はじめ職員
の人件費を減額、また議員、
教育委員、農業委員の報酬も
削減しています。
各種事業にかかる経費も徹
底的に見直し、支出を最小限
に抑えています。
このように、まちではさま
ざまな面で工夫して経費削減
に務めています。

